

- ・ユネスコ学校図書館宣言
- ・学校図書館法
- ・小学校学習指導要領
- ・文字・活字文化振興法
- ・島根県子ども読書活動推進計画
- ・子どもの読書活動の推進に関する法律

【学校教育目標の具現】
 人間尊重の精神に徹し、豊かな人間性と
 たくましい実践力をもつ布勢の子

- 体 験 …本物の体験を基盤とし、生きる力を育む
- ふれあい …児童、教職員、地域のふれあいを深め、自己肯定感を高める
- 感 動 …達成感や成就感を味わい、将来の夢や目標を育てる

- ・児童・地域の実態
- ・地域や保護者の願いや期待
- ・教師の願いや指導観
- ・現代社会の要請

【図書館教育の目標】

- 読書センター：児童の読書活動を支援し、読書の喜びや楽しさを味わわせることを通して、読書習慣を身につけるとともに、言語感覚を磨き、豊かな人間性を育てる。
- 学習センター：児童の学習活動を支援し、授業の内容を豊かにしてその理解を深める。
- 情報センター：児童の情報の収集・選択・活用能力を育成する。

【図書館運営の方針】

- 教育課程に位置づけた学校図書館の利用や授業の実施を推進する。
- 読書センターとして魅力のある読書指導や環境づくりに努める。
- 学習センターとして学びを支える資料の提供に努める。
- 情報センターとして発達段階に応じ系統的に情報活用能力の育成に努める。
- 教職員・保護者との連携を密にし、理解や協力を得る。

【各学年の目標】

	低 学 年	中 学 年	高 学 年
読 書	・楽しんだり知識を得たりするために、本や文章を選び、楽しんで読書をすることができる。	・目的に応じて、いろいろな本や文章を選び、幅広く読書をすることができる。	・目的に応じて、適切な本や文章を選び、読書を通して考えを広めたり深めたりすることができる。
情 報 活 用	・学校図書館に親しみ、利用の仕方の基本的な技能・知識・態度を培い、喜んで資料の活用ができる。	・進んで学校図書館を利用する態度を培い、楽しく資料や情報を集め、活用することができる。	・積極的に学校図書館を利用する態度を培い、計画的に資料や情報を集め適切に活用することができる。

【研究主題】

「本が好き！本で学び、読書の喜びを伝え合うふせっこをめざして」

特別活動

- ・学級活動を通し、学校図書館の利用の仕方や情報を活用する力を育てる。
- ・児童会活動(わくわく情報委員会)において、学校図書館の運営等、自分たちの仕事を協力し合いながら自主的に実践し、コミュニケーションを楽しむ態度を育てる。

各 教 科

- ・各教科の目標を達成する中で、学習センター、情報センターとしての学校図書館の意義を踏まえ、担任、司書教諭、学校司書が連携をとりながら、積極的、計画的に図書館を活用した学習を行う。
- ・学校図書館活用学習を通して、情報を効果的に活用する能力を育てるとともに、自主的に学ぶ態度を育成する。
- ・適切な言語活動・表現活動など、伝え合う場を選定する。
- ・国語科を通して読解力を身に付けさせるとともに、集団読書の場を設定するなどして、読書力の向上を図る

道 徳

- ・様々な資料を使って、道徳的心情を豊かにし、実践的意欲を高めていく。

**ふせっこタイム
(総合的な学習の時間)**

- ・課題の設定、調べ学習、体験活動、発表活動などで、適切な資料を活用して学ぶ力を育てる。
- ・まとめ方や発表の仕方を身につけ、伝え合う力を育てる。

家庭・地域との連携

- ・図書館だよりを発行し、学校図書館活用教育への理解を得たり、授業公開日を利用し、親子読書の時間や講演会などを設定したりする。
- ・ノーテレビデーにあわせて「ファミリー読書週間」を設け、家読をすすめる。
- ・相互貸借利用をすることで、近隣の小中学校、公共図書館との連携を図る。

読書活動

- ・朝読書、みんなで読書、読み聞かせの時間を通して図書に親しませるとともに、常に読みかけの本を持たせ、読書の習慣化を図る。
- ・個の実態を把握し、支援を行う。

各学級・学年経営

学校図書館の環境の充実・整備

生涯学習の基礎、
生きる力の育成